※令和４年度以降入学生用

学校番号	3016

令和５年度　工業科（電気系）

教科	工業	科目	キャリア実現	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	工事担任者 第２級デジタル通信 標準テキスト（リックテレコム）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

問題解決の課程を大切にさせ、主体的、体験的な学習活動を通し、それぞれの資格について問題などを使い理解度を広げ、合格をめざしていくよう心がける。

２　学習の到達目標

生徒の実態を考慮し、進路における自己実現、資格取得等を目的とし、生徒自ら課題を見つけ自ら学び、自ら考え、主体的に判断し自分自身の資質・能力を育てる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	電気工学の基礎 電気通信の基礎 端末設備の技術 ネットワークの技術 情報ｾｷｭﾘﾃｨｰの技術 接続工事の技術 電気通信事業法及び 施工規則 工事担任者規則 認定等規則 有線電気通信法 端末設備等規則 有線電気通信法関連 不正アクセス行為の禁止等 に関する法律 といった知識と技能の習得	電気通信の工事担任者は、電気通信回線に端末設備、又は自営電気通信設備の接続工事を行い、又は監督する役割を担っています。利用者による端末設備又は自営電気通信設備の接続は、電気通信に関する知識を要し、その良否は電気通信回線設備を通じて他に与える影響が大きいことから、電気通信回線設備の損傷及び他の利用者への迷惑を事前に防止（接続の技術基準を確保）するとともに、人体の保護を確実ならしめるため、その資格を認定するに値する工事を行える思考と判断力を身に着ける。	工事担任者第２級デジタル通信がデジタル伝送路設備に端末設備等を接続するための工事であることを認識し、現代社会において生活の中に必要なものであることを意識して自ら積極的に資格取得に向けて学習に取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期2学期3学期		電気工学の基礎 電気通信の基礎 端末設備の技術 ネットワークの技術情報 セキュリティーの技術 接続工事の技術 電気通信事業法 及び施工規則 工事担任者規則 認定等規則 有線電気通信法 端末設備等規則 有線電気通信法関連 不正アクセス行為の 禁止等に関する法律	a:電気工学の基礎から不正アクセス行為の禁止等に関する法律といった知識と技能の習得している。 b:電気通信の工事担任者は、電気通信回線に端末設備、又は自営電気通信設備の接続工事を行い、又は監督する役割を担っています。利用者による端末設備又は自営電気通信設備の接続は、電気通信に関する知識を要し、その良否は電気通信回線設備を通じて他に与える影響が大きいことから、電気通信回線設備の損傷及び他の利用者への迷惑を事前に防止(接続の技術基準を確保)するとともに、人体の保護を確実ならしめるため、その資格を認定するに値する工事を行える思考と判断力を身に着けている。 c:工事担任者第 2 級デジタル通信がデジタル伝送路設備に端末設備等を接続するための工事であることを認識し、現代社会において生活の中に必要なものであることを意識して資格取得に向けて意欲的に学習に取り組んでいる。	定期考査	小テスト 課題 資格試験 に合格できたか	ノート 授業態度 発表 忘れ物 意欲 積極性

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度